

# GAPでより良い農業生産を

GAP(ギャップ)とは、農産物の安全を確保し、より良い農業生産を実現する取組です。

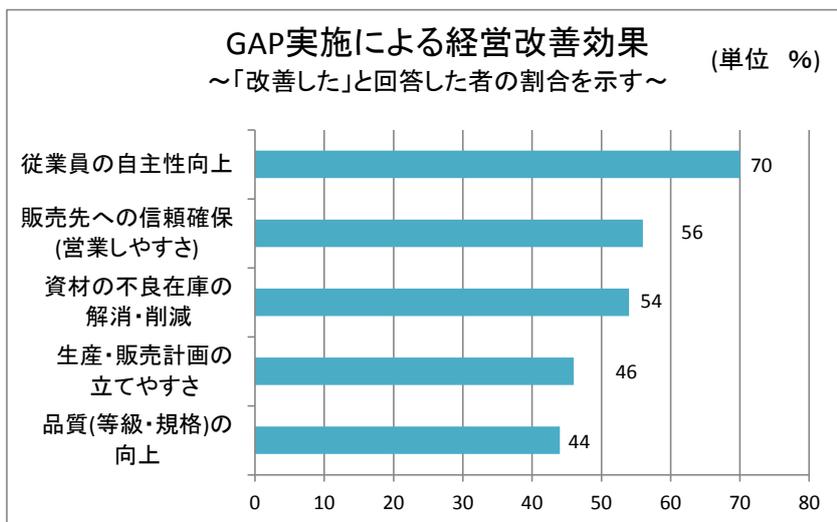
Good ( 良い ) Agricultural ( 農業の ) Practice ( やり方 ) = G A P

○農産物の生産で最も重要なことは、食品としての安全を確保することです。

○生産者の皆さんは、農産物の安全を確保するための生産履歴の記帳を中心に、環境保全、労働の安全を確保するための点検などを、日頃より行っていることと思います。

○GAPとは、これらの取組状況を記録簿や掲示物によって「見える化」しながら、農産物(食品)の安全を確保し、より良い農業生産を実現する取組です。

GAPをすると、経営改善に効果があります。



## (1) GAPに取り組みましょう！ ～まず、農業生産のレベルアップから～

### ステップ1 : 整理整頓

これまでも取り組んできた整理整頓や、生産履歴の記帳が基本です。

### ステップ2 : 農場点検 (問題の整理・改善)

いつもやっていることの問題点を見つけて、チェック項目に従って農場の点検、改善しましょう。

- 食品安全 : 異物混入の防止、農薬の適正使用と保管 など
- 環境保全 : 適切な施肥、土壌浸食の防止、廃棄物の適正処理・利用 など
- 労働安全 : 機械・設備の点検・整備、作業安全用の保護具の着用 など
- 人権保護 : 家族経営協定の締結、技能実習生の作業条件遵守 など
- 農場経営管理 : 責任者の配置、教育訓練の実施、内部点検の実施 など
- その他 : 商品回収テストの実施、資材仕入先の評価 など

上記の項目について、問題点を改善しながら自己点検を繰り返します。

☆ GAPに取り組むときには、専門家(指導員)の指導を受けることが効果的です。

## (2) 認証が必要になったら次のステップへ

- ◇取引先からの要求に応じたい
- ◇東京オリンピック・パラリンピックに食材提供したい
- ◇輸出したい など



認証取得

### ステップ3 : 審査

審査会社に申し込み。(相談は予定期日の3か月前に)

審査員にかかる費用は、申請者が負担(日当や旅費、宿泊費など)。

### ステップ4 : 認証取得

認証取得には、半年から1年程度かかります。

認証取得には、一定の費用がかかります。

## GAP 認証取得で販売先を拡大しましょう！

取引先の要望をよく聞いて、下表を参考にして必要な認証を取得をしましょう。

表 第三者認証の例

第三者認証の例	JGAP/ASIAGAP (ジェイギャップ/アジアギャップ)	GLOBALG. A. P. (グローバルギャップ)
運営主体	一般財団法人日本GAP協会	FoodPLUS GmbH (ドイツの大手小売業者等の組織)
情報収集・連絡先	一般財団法人日本GAP協会 電話: 03-5215-1112 ホームページ: <a href="http://jgap.jp">http://jgap.jp</a>	一般社団法人GAP普及推進機構/ GLOBALG.A.P.協議会 電話: 03-5532-7329 ホームページ: <a href="https://www.ggap.jp/">https://www.ggap.jp/</a>
特徴	日本発のGAP認証。平成29年8月 からASIAGAPの運用開始。	EUを中心に世界で約16万件認証。
認証期間	2年間ただし途中で維持審査あり	1年間
審査会社	東京2社、神奈川1社、北海道1社等	東京2社、神奈川1社等
審査費用	10万円程度+旅費	25~55万円程度+旅費
コンサルタント会社	大手: 茨城1社、中小数社	大手: 東京1社、茨城2社
コンサルタント費用	25~30万円程度+旅費	40~55万円程度+旅費
コンサルタントの標準指導日数	5日間	5日間
オリンピック・パラリンピック調達基準	○	○
国内販売先の取得要請	△(一部の大手スーパー)	△(一部の大手スーパー)
海外マーケット	△(台湾・香港・東南アジアで推進中)	△(特にヨーロッパで普及)

※審査費用は、個別認証(個別農家)と団体認証(JAの生産部会等の組織)でも異なります。

※コンサルタントの受講は、認証取得にあたっての必須要件ではありません。

※この資料は、農林水産省生産局農業環境対策課(GAP推進グループ)の

「『GAP』でより良い農業生産を！」を参考に作成したものです。

問い合わせ  
前橋市 農政課 農産園芸係  
電話 027-898-6707  
FAX 027-223-8527